

～「第131回ひびきのサロン」 北九州学術研究都市 連携大学院特別企画～

産業界が求める人材とは？

自動車・ロボットの先進技術を学ぶ学生と産業界の先輩たちによる意見交換を開催！

北九州学術研究都市に立地する九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学の3大学（支援機関：北九州市、北九州産業学術推進機構）が運営する連携大学院「カーエレクトロニクスコース（略称：カーエレコース）」「インテリジェントカー・ロボティクスコース（略称：カーロボコース）」において、この度、産業界で活躍する先輩技術者、連携大学院で学んだ先輩学生や卒業生が集まり、連携大学院の学生と語り合い・交流する会を初めて開催します。

■日 時：平成26年10月10日（金）15:00～17:20（懇親会 17:30～18:30）

■場 所：北九州学術研究都市 技術開発交流センター 交流室B

■テーマ：「産業界が求める人材と連携大学院への期待」
～産業界、先輩から送る連携大学院生への熱いメッセージ～

■内 容：

①基調講演「産業界が求める人材と連携大学院への期待」

講師 日産自動車(株) 第一電子技術開発本部電子アーキテクチャ開発部
総括グループ エキスパートリーダー 田中 裕史 氏

②講演 「連携大学院で学んで欲しいこと」

講師 九州工業大学 大学院生命体工学研究科 教授 森江 隆 氏

③発表1 「昨年度、連携大学院を受講して学び得たこと」

講師 早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 修士2年 坂口 淳 氏
(25年度カーロボコース修了生)

④発表2 「社会に出て感じた連携大学院で学んだことの意義」

講師 日産自動車(株) プラットフォーム・車両要素技術開発本部
シャシー技術開発部 ブレーキシステム開発グループ 和田 佑二 氏
(21年度カーエレコース修了生)

⑤パネルディスカッション

コーディネータ 九州工業大学大学院生命体工学研究科 准教授 我妻 広明 氏
日産自動車(株) エキスパートリーダー 田中 裕史 氏
早稲田大学大学院情報生産システム研究科 修士2年 坂口 淳 氏
日産自動車(株) 和田 佑二 氏
(公財)北九州産業学術推進機構 事業推進担当部長 都甲 猛 氏

※ 今回の特別企画

学生にとっては、企業の開発現場における生の体験談や苦労話、技術者としての心構え、学生生活におけるアドバイスなど、大変有益な話が聞ける機会になります。また、企業や大学関係者、支援機関にとっては、社会や仕事に対する学生の考えが掴めるとともに、授業や実習、インターンシップ等に関する要望や新しい提案が聞ける場になり、連携大学院の更なる発展に繋がることが期待されます。

【問い合わせ先】

公益財団法人北九州産業学術推進機構 事業推進担当部 TEL：093（695）3685 担当：篠原、都甲
北九州市 産業経済局 新産業振興課 TEL：093（582）2905 担当：小溝、柴田

《参 考》

■連携大学院について

北九州学術研究都市の3大学が、自動車・エレクトロニクス業界の支援を得て、平成21年度から連携大学院カーエレクトロニクスコースを開設し、実践的な高度専門人材を輩出しています。さらに、平成25年度からはインテリジェントカー・ロボティクスコースも開設し、自動運転、知能ロボットの分野でも次世代を担う専門人材の育成に取り組んでいます。

<特色>

- ・自動車やロボット等の業界の第一線で活躍する企業技術者を講師として招聘。
- ・大学と企業・北九州市・北九州産業学術推進機構が密接に連携した運営体制で就職等を支援。
- ・カーロボコースでは、夏期総合実習の競技会で実践学習の機会があり、全国各地の高専・大学学部生もインターンシップ制度を利用してチーム学習に参加。
- ・カーエレコースでは、これまで多くの先輩が自動車関連・エレクトロニクス関連の企業に就職。
※カーロボコースは25年度スタートのため、26年度末に第一期卒業生を輩出予定。

<実績>

☑ 毎年、自動車とロボット分野の高度専門人材をコンスタントに輩出！

<これまでの修了生の合計人数>

カーエレコース 132名

カーロボコース 39名

☑ 就職率ほぼ100%。自動車とエレクトロニクス業界に多く就職！

<主な就職先>

トヨタ自動車(株)、日産自動車(株)、マツダ(株)、三菱自動車工業(株)、(株)デンソー、アイシン精機(株)、富士通テン(株) 等

☑ 学生・企業の双方から高い評価。人材育成と採用の好循環が生まれている！

<学生の評判>

①年々履修を希望する学生が増加

26年度競争倍率(応募者数/新規履修生数)

カーエレコース 2.2倍

カーロボコース 1.3倍

②履修した学生からの主な感想

- ・コース履修生のみ参加できる実習、演習、競技会は、大変貴重な体験。
- ・研究開発に携わる企業の技術者から生の体験談が聞け、職場や仕事に対するイメージが出来た。など

<企業の評価>

- ・目的意識がはっきりした優秀な学生が集まってくる。
- ・自動車等の技術を幅広く学んでおり、即戦力として期待できる。など

☑ 最新トピックス「アイシン精機(株)が北九州学術研究都市に本格進出」！

平成26年12月に、自動車部品メーカーのアイシン精機(株)は、学術研究都市に電子システム開発部九州開発センターを開設予定。平成27年度末30名、平成32年度末100名という、学術研究都市で初の自動車関連企業の大規模な進出となる見込み。進出理由の一つは、業界で不足している研究開発人材の確保にあり、連携大学院への期待も高い。